

■住井すゑ 小説家、児童文学作家。若くして登場、晩年に、被差別部落扱う「橋のない川」を書き続けて決定的評価。
すみいすゑ 教科書疑獄・1902＝ 奈良県磯城郡平野村で、被差別部落近傍の機屋も営む富裕な農家の3男3女の末子に生まれる。

日露戦争終・1905＝ 3歳：
満鉄発足・・1906＝ 4歳： 特異な行動をして、父・長兄から侮蔑的叱責を受けたことがトラウマとなり、

アヲヲ創刊・ 1908＝ 6歳： 一番好きだった兄辰蔵が見習い奉公に出てしまう。平野村尋常小学校に入学するもなじめず、優しい担任の先生に支えられる一方、被差別部落の実態に触れて憤りを覚えるようになる。
韓国併合・・1910＝ 8歳： <大逆事件>で処刑された幸徳秋水・菅野すがらに共感を覚える。
大逆事件判決1911＝ 9歳： 担任の先生と離別。兄辰蔵から送られてくる雑誌を愛読。家業が廃業となり、以後、質素な生活。
明治天皇没・1912＝10歳：

第一次大戦始1914＝12歳： 首席で卒業し、地元の田原本技芸女学校に入学、
在学中から{文章世界}等に短歌や短文を投稿し、しばしば掲載される。博文館編集者犬田卯と文通始める。

本格政党内閣1918＝16歳： 独学で、
小学校教育資格検定試験に合格、1年間小学校の准訓導を勤めた後、
ベルン条約・1919＝17歳： *講談社女性記者に応募して採用され、上京。雑誌{講談倶楽部}新年号競作で一席となり、伝説化。筆禍で退社した犬田卯を援助、童話を書いて原稿料稼ぐなどする。

大暴落・・・1920＝18歳： 女性社員差別に抗議して、退社。以後、執筆活動に専念。
原敬首相暗殺1921＝19歳： 初の長編書き下ろし小説「相剋」を刊行し、生田長江の激賞を受ける。犬田卯と結婚。以後、喘息持ちの夫とともに農民文学運動を続ける。反権力・女性解放の運動にも参加、

水平社結成・1922＝20歳： 全国水平社創立を知り、宣言を読んで感動。
関東大震災・1923＝21歳： 長男を出産。小川芋銭と初対面。
護憲三派圧勝1924＝22歳： この年、夫が同志と{農民文学研究会}を結成し、{農民}発刊。
円本時代始・1926＝24歳： 長女を出産。
共産党事件・1928＝26歳： 義父が死去。葬式代もままならず。
世界恐慌・・1929＝27歳： 次女を出産。読売新聞懸賞小説で「大地にひらく」が2等、大金を得るも、夫の活動の罰金に消えて行く。
海軍軍縮条約1930＝28歳： 高群逸枝らの無産婦人芸術連盟に参加し、2年間、{婦人戦線}誌上で女性の解放を強く訴える。
満州事変・・1931＝29歳： 次男を出産。*「村の浮浪者」が{精鋭十人傑作集}に収録される。
五一五事件・1932＝30歳： 夫主宰の{農民}が次々発禁となり、罰金も払えなくなって、小川芋銭に援助を仰ぐ。
国際連盟脱退1933＝31歳： 夫が{農民}を廃刊。大連新聞に「母性戦線」を連載。
帝人疑獄事件1934＝32歳： 三男出産するも、夭折。
芥川直木賞始1935＝33歳： 軍国支配避け夫の療養兼ねて、夫の郷里茨城県牛久に移住して、自給生活に入り、
病身の夫の看護・4人の子供の育児に追われながら、児童雑誌などへの執筆と農耕生活で暮らしをたて、

日中戦争始・1937＝35歳：
健保+総動員 1938＝36歳： 牛久が大洪水で腸チフスや疫病がはやると、手持ちの薬で多くの病人を救う。母が死去。

大政翼賛会・1940＝38歳： 「農婦譚」、
日米開戦・・1941＝39歳： 「子供の村」「土の女たち」、
・・・・・1942＝40歳： 「子供日本」を刊行して、農民作家としての頭角を現し、
創価学会検挙1943＝41歳： 「尊皇歌人～佐久良東雄」「日本地理学の先駆～長久保赤水」。長編「大地の倫理」を刊行。*NHKラジオでたびたび作品が朗読され、知名度が上がって行くなか、

敗戦・・・・1945＝43歳： 敗戦を迎え、
新憲法公布・1946＝44歳： 諸雑誌に次々作品を発表しながら、小説活動に復帰。夫の病状悪化。
新憲法施行・1947＝45歳：
極東裁判決・1948＝46歳： 童話「飛び立つカエル」が三省堂の国語教科書に掲載された際、クレームつけ、以後、掲載料一般化。
三大事件・・1949＝47歳： 小学館の学習雑誌に毎月児童文学を発表し、以後、10年続く。
この間も、{農民文学}ほかに短編小説を次々発表。

独立回復・・1951＝49歳：
マデラ事件・1952＝50歳： *「みかん」で第1回小学館児童文学賞、

自衛隊発足・1954＝52歳： 長編「夜あけ朝あけ」で毎日出版文化賞受賞。その後、映画化・劇化・ラジオ放送などで話題。
55年体制始・1955＝53歳： 夫が意識不明となり、入院。以後、泊り込んで看病しながら、執筆。
国連加盟・・1956＝54歳：
なべ底不況・1957＝55歳： 夫が死去。「愛といのちーはだしの夫婦36年」(犬田卯と共著)、
インスタントラーメン・1958＝56歳： 部落解放同盟等関係機関訪問し文学方面での参加を表明、闘争も体験。「向い風」を刊行後、決意新たに被差別部落を描く「橋のない川」の執筆に取り掛かり、

美智子妃・・1959＝57歳： 連載開始、
安保闘争・・1960＝58歳： 最愛の兄辰蔵が死去。
タイタイ病始・1961＝59歳： *「橋のない川」第1部の刊行、ベストセラーになる。続いて完結予定の第2部刊行するも、書き下ろし続け、
TV宇宙中継始1963＝61歳： 「橋のない川」第3部を刊行、児童文学版として「地の星座」刊行。
東京リビノック1964＝62歳： 「橋のない川」第4部を刊行、ひとまず完結の形とる。拒食症になり、初の入院体験。
大学紛争始・1965＝63歳：
以後、スランプ続く。

全共闘ピーク・1969＝67歳： 今井正監督が映画化、
大阪万博・・1970＝68歳： 「橋のない川」第5部を刊行。今井正監督が第2部も映画化、小説趣旨と反対と解放同盟から糾弾される。

石油ショック1973＝71歳： 「橋のない川」第6部で一応の完結を見、16年間に5000枚という大作となる。
角栄金脈辞任1974＝72歳：

成田衝突・・1978＝76歳： 自宅敷地に{抱撲舎}を建設。

中曽根内閣・1982＝80歳： {抱撲舎}を開放して文化交流の場とする。翌年にかけ、過去の児童文学を有名児童画家による絵本刊行。
ドイツユーボ・1983＝81歳： 「橋のない川」中国語訳刊行始。エッセイ集「牛久沼のほとり」。
・・・・・1984＝82歳： 「八十歳の宣言」。その後も、過去の作品が次々再版・文庫化されるなか、多数の著作刊行続けながら、
パブル崩壊・1992＝90歳： *「橋のない川」第7部を発表したが、なお第8部を書き継ぐ意志をもったまま、
金融破綻・・1997＝95歳： 没した。

インターネット「住井すゑの100年」、「この人どんな人」、「目でみる日本人物百科」、「女たちの20世紀・100人」、「日本の女性」、